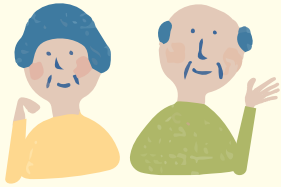


地域の足元から学ぶ講演と意見交流

連続講座



講師 上田小県近現代史研究会会員



申込不要
入場無料

上田小県地域から自由大学運動がおこって100年。今、あらためて「自己教育」の大切さ、おもしろさと共に互いに学び合い人間として成長できる機会・場をもち、育て合うことへの理解の幅を広げませんか。
この度、「あなたとわたしで学ぶ自由大学」をテーマに連続講座を開催します。講師を交えた気楽で楽しい講座です。お気軽にご参加ください。

全講座共通

受付 13:30

講演 14:00～15:30

交流 15:40～16:30

★各講座と講師の紹介は裏面をご覧ください。

2024年
6月29日^土

上田中央公民館
視聴覚室



明治以降の長野県と
上田小県地域の教育

講師 関 秀雄 さん

9月21日^土

上野が丘公民館
第2学習室



学ぶ青年たち
—小県^{れんこう}聯合青年団幹部講習会—

講師 富田 隆順 さん

12月7日^土

塩田公民館
小ホール



大学誘致および環境教育

講師 村山 隆 さん

2025年
1月11日^土

西部公民館
第5学習室



子守学校と
工女の教育・女紅場^{べにこうじょう}など

講師 清水たか子 さん

2月8日^土

川西公民館
多目的ホール



子ども本位の教育

講師 桂木 恵 さん

主催：自由大学運動100年記念フォーラム実行委員会

共催：上田小県近現代史研究会

後援：上田市 東御市 長和町 青木村 上田市教育委員会 東御市教育委員会 長和町教育委員会 青木村教育委員会 上田商工会議所 信濃毎日新聞社 週刊上田新聞社 信州民報新聞社 東信ジャーナル社 (株)上田ケーブルビジョン 丸子テレビ放送(株) 朝日新聞長野総局 読売新聞長野支局 毎日新聞 SBC信越放送 NBS長野放送 TSBテレビ信州 長野朝日放送 長野大学 上田女子短期大学 信州大学繊維学部 高教組上小支部 県教組上小支部 ヤマンプバの会 神川・山本鼎の会 クラシック音楽に親しむ講座の会 NPO法人上田図書館倶楽部 長野県歴史教育者協議会

お問い合わせ 自由大学運動100年記念フォーラム実行委員会 090-9844-9401 (和田)

2024年

6月29日^土 明治以降の長野県と上田小県地域の教育 関 秀雄 さん

上田中央公民館 視聴覚室

明治維新以来約1世紀半、日本の教育の内容は人々にとってどういったものだったのか。長野県は「教育県」と言われてきたが、その内実はどうだったのか。第二次世界大戦に至る過程でどうして教育は軍国主義へ走ったのか。また、地元上田小県の教育の歴史はどういうものだったのか。長野県や地元上田小県における独自の教育実践や、すぐれた教育の取り組みをした教育者についても触れ、1世紀半にわたる近代教育の歴史を振り返ります。



上田(旧丸子町)生まれ丸子育ち、現在も丸子住民。大学卒業後、長野県立高校教員(国語)。現在は非常勤講師。大学では中世軍記物語を専攻。教員生活の途中から郷土の歴史に興味を持ち、上田小県近現代史研究会の発足から会員。会が刊行するブックレット各号に調査したことを掲載。また、郷土にゆかりのある作家(島崎藤村、青木村出身の栗林一石路、上田市出身の新田潤など)について勉強中。
■共著『弱者の友たれー小河滋次郎・その信念と足跡ー』など

9月21日^土 学ぶ青年たちー小県聯合青年団幹部講習会ー 富田 隆順 さん

上野が丘公民館 第2学習室

大正デモクラシーを背景に、上田小県地域の青年たちが毎年別所常楽寺を会場として、中央から第一線の講師を招いて20年近くにわたり学習会を開きました。その革新性と時代背景による講義内容の推移を紹介したいと思います。



1941年生まれ、元公立高等学校教諭(社会科)。創設以来上田小県近現代史研究会に参加。ブックレットNo.14『反核平和運動に捧げた半生ー半田孝海の生涯ー』を執筆。
■著書『反核平和運動に捧げた半生ー半田孝海の生涯ー』など

12月7日^土 大学誘致および環境教育

村山 隆 さん

塩田公民館 小ホール

自然・歴史・文化の宝庫、信州塩田平に誘致された大学の存在意義を語ります。そこでの「地域と教育の連携・協力共同」関係を点検してみます。特に、地域に根ざす環境教育に焦点化して考察します。



1946年上田市下之郷新田生まれ。京都美山町にて農山村の地域づくり教育運動を実践。帰郷後、里山の老松枯死事件の衝撃から環境市民団体「ヤマンバの会」結成(創立30年)、事務局長。『たにし学校』著者。
■共著『戦争遺跡 松の木は語る』など

2025年

1月11日^土 子守学校と工女の教育・女紅場など 清水たか子 さん

西部公民館 第5学習室

学制が発布(明治5年)されても男子と女子の就学率は歴然と違っていました。男尊女卑の風潮は根強く社会を覆っていました。学校に行けない女子のために子守学校を設置しました。上田の子守学校は先駆的な役割を果たし、全国から見学者が訪れました。



関西から震災を機に上田に移住したのは、25年前です。15年前に「蚕都物語」の出版を機に「上小近現代史研究会」に入会しました。佐久の実家が古物を蔵に収集してあるのを多くの人が見学に来たのを見て、歴史に興味を持ちはじめました。
■著書『蚕都物語 蚕種家清水金左衛門のはるかな旅路』など

2月8日^土 子ども本位の教育

桂木 恵 さん

川西公民館 多目的ホール

戦前までの教育は、何よりも「忠君愛国」のためのものであり、教師もまたそれを教授する職として位置づけられていました。しかし、目の前の子どもたちの置かれた厳しい現実を前に、その狭間で悩み苦しみながら子ども第一を考え、教壇に立っていた教師たちもいました。



上田小県近現代史研究会事務局長、歴史教育者協議会・信濃史学会所属、長野救命医療専門学校非常勤講師。専門は日本および上田小県の近現代史、最近では特に日露戦争時の軍事郵便解読に取り組んでいます。鉄道(史)も研究対象としています。
■著書『軍事郵便は語る 戦場で綴られた日露戦争とその時代』など

上田小県近現代史研究会のご紹介

上田小県の近現代の歩みを掘り起こし、地域の発展に貢献する研究会です。地域住民の視点に立って研究テーマを設定し、会員の個人研究や共同研究の成果をブックレットとして毎年1冊発刊しています。発刊した冊子は、生涯学習や学校教育で利用されています。

開催のお知らせ

2024年自由大学運動100年記念フォーラム

自由大学が求めていた学び、学び合うこととは?

日時

2024年11月10日(日)

会場

上田商工会議所 5階ホール
(上田市大手1-10-22)

午前

講演「自己教育と相互主体的な学びを創る」
長島伸一 長野大学名誉教授

午後

【市民ゼミナールの試みと意見交換会】
「講師とシンポジストとの対談」
および参加者との意見交換